

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

ほの湯 楽々園店(仮称)

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配 慮 項 目	評価点	重み係数	内 訳					
■ 1. 「地球温暖化対策」の推進								
1.1 建物の熱負荷抑制								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 基準値に比べ、[PAL値] ≧ -25%	3.0	0.11	Q1	室内環境	2	温熱環境	2.1	室温制御
	3.0	0.00						
	5.0	0.89	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制		
小計	4.8	0.18						
1.2 自然エネルギーの利用								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用	2.1	自然エネルギーの直接利用
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用	2.2	自然エネルギーの変換利用
小計	3.0	0.11						
1.3 設備システムの高効率化								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 高効率熱源機器の採用 局所換気による搬送動力の低減 高効率照明機器の採用	4.6	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化		
小計	4.6	0.16						
1.4 設備システムの効率的運用								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください エネルギー消費の内訳がわかるように設計	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.1	モニタリング
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.2	運用管理体制
小計	3.0	0.11						
1.5 資源・マテリアル対策								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 節水型器具の採用	4.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.1	節水
	3.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用
	3.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用
	2.0	0.06	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.1	材料使用量の削減
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.2	既存建築躯体等の継続使用
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用
	1.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用
	2.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.5	持続可能な森林から産出された木材
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み
小計	2.7	0.31						
1.6 ライフサイクルCO2排出率								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください ライフサイクルCO2の排出率が、一般的な建物と同等	4.3	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮		
小計	4.3	0.13						
1. 「地球温暖化対策」の推進の評価								
	3.6	0.71						
■ 2. 「ヒートアイランド対策」の推進								
2.1 温熱環境の向上								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 緑地面積を敷地面積の10%以上確保	2.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出		
	3.0	0.24	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮	3.2	敷地内温熱環境の向上
	3.0	0.27	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.2	温熱環境悪化の改善
小計	2.5	0.96						
2.2 交通負荷抑制								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 十分な駐車台数を確保	5.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.3	地域インフラへの負荷抑制
小計	5.0	0.04						
2. 「ヒートアイランド対策」の推進の評価								
	2.6	0.18						
■ 3. 「長寿命化対策」の推進								
3.1 耐用性の向上								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	部品・部材の耐用年数
	3.0	0.12	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	部品・部材の耐用年数
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数
	2.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数
	3.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数
	3.0	0.03	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数
	4.0	0.06	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数
小計	3.0	0.70						
3.2 設備の更新性								
(コメント) ※設計の計画面上特段に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性
	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性
小計	3.0	0.30						
3. 「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)								
	3.0	0.10						
■ 重点項目の総平均(上記3項目)								
	3.4							